

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐渕真人

問い合わせ先 IRチーム 小岩朋紀

TEL:03-3862-2768

◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

5月度(単月)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	89,912	73,092	81.3%
メイキングトイカテゴリー	1,112	279	25.1%
その他(遊具・乗り物・育児等)	11,047	3,475	31.5%
海外販売・ロイヤリティ収入	11,400	13,531	118.7%
合計	113,472	90,377	79.6%

2～5月度(累積)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	374,461	312,690	83.5%
メイキングトイカテゴリー	6,337	1,626	25.7%
その他(遊具・乗り物・育児等)	51,180	20,118	39.3%
海外販売・ロイヤリティ収入	61,976	44,890	72.4%
合計	493,953	379,324	76.8%

◆5月度発売新商品・リニューアル商品

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税込)
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	1curiosity「モギ・モギ」	¥7,700
	1curiosity「フム・フム」	¥5,500
	1curiosity「カラ・クル」	¥4,400

◆5月度および直近TOPICS

●5月度は、5月7日新発売の「1curiosity®(ワンキュリオシティ)」に対する市場の反応が早く、発売から2週間ほどですが順調な滑り出しを見せております。中でも当社にはこれまでない現象として、発売後すぐSNSに「朝目覚めた子どもが1curiosityにまっしぐら!」というような購入者による高い使用満足度についての投稿が続くなど、子どもの好奇心に視点を合わせた当社の好奇心事業は第1弾から期待が高まっております。次月度には当該シリーズの英国・台湾ローンチも予定しており、国内と共に販路拡大を進めていきたいと思っております。

●直近のメディア掲載情報

- ・2025/5/28 【web】「日経XTREND(クロストренд)」に、「1curiosity」シリーズが紹介されました。
<https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00947/00175/>
- ・2025/6/5 【新聞】「読売新聞 朝刊」に当社の柔軟な働き方を支える就業文化のひとつ「子連れ出勤」が取り上げられました



- 6月25日(木)に第5回投資家向け会社説明会として「第1四半期決算ハイライト」の動画配信を予定しております。こちらは当社ホームページのIR情報 <https://www.people-kk.co.jp/investorrelations/> に掲載いたしますのでぜひご視聴ください。
- 6月より当社公式note「ピートラ」にて、IR担当者による発信を予定しております。

昨年および昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではパースのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第一弾のローンチを2025年春(2026年1月期)に計画しております。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。

また、2022年より活動を開始した当社「ピープル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあげようワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行っております。

- ①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ
 - ・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン
 - ・周年イベントの開催(2026年1月期: やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちや15周年)
- ②PR、IR活動にリソースを割り、情報発信力を強化

(ご参考) 業績予想(2025年6月2日公表) 2026年1月期第2四半期(2025年1月21日～2025年7月20日) 業績予想

	2026年1月期第2四半期 業績予想 (百万円)	前年同期間比(%)
売上高	586	81.7
営業利益	△175	—
経常利益	△176	—
当期純利益	7	—